



# 南中だより

教育目標 愛 勉学 自主性 健康

令和5年3月6日

東久留米市立南中学校

校長 小川 高弘

## 「令和4年度を振り返って」

校長 小川 高弘

学校の1年間の締めくくりである3月を迎えました。3月は「弥生」と呼ばれ、草木がいよいよ生い茂る月「木草弥や生ひ月（きくさいやおひづき）」が詰まって「やよい」となっていると言われています。万物が成長する春を迎え、冬の厳しい寒さを乗り越えた南中の生徒達にも1年間の成長が見られます。

令和2年2月末の突然の一斉休校から3年が経ちました。この1年間も、学校生活のあらゆる場面において感染症対策を徹底しながら、教育活動を進めてきました。今年度は、運動会・合唱会・文化発表会の三大行事、修学旅行・移動教室・スキー教室の宿泊行事が3年振りにすべて実施することができたことは、生徒にとって大きな収穫であったと思われます。どの行事も、コロナ禍前と比較すれば、感染対策のための制限が数多くありましたが、「できない」ではなく「何ができるか」を考えてきた成果だと考えます。保護者の皆様にもご理解いただきありがとうございました。

この1年間も感染症対策の1年となりました。4月の始業式翌週に3年生の学年閉鎖があり、専門委員会や部活動のスタートが遅れました。6月の運動会直前にも2年生の学級閉鎖があり、翌週に延期して実施しました。7月には、体育館内の密を避けるために1年生がリモート参加となりましたが、開校50周年記念式典を実施することができましたことは、関係の方々への感謝でいっぱいです。2学期には、9月の2年生の志賀高原での移動教室、3年生の修学旅行、10月の合唱会と大きな行事を感染対策のもと実施しました。2学期以降は、感染対策を念頭に置きながら、授業をはじめとする教育活動を実施することができました。社会の感染者数の増加に伴い、本校の生徒・教員にも新型コロナウイルスの感染者が出ましたが、家庭や学校内の感染対策のおかげで、感染を拡大させずに教育活動を継続させることができました。

1年間の教育活動へのご理解とご協力に感謝いたします。今後、新型コロナウイルス感染症の扱いが変わってくるようですが、都や市の指示や感染状況を踏まえて、来年度の教育活動を行ってまいりますので、よろしく願いいたします。

### 卒業式について

3月17日に行います卒業式の参列者は、来賓、教職員、卒業生、在校生代表、卒業生家族とします。各家庭からの参列者数は、座席数の関係で、生徒一人につき2名までとさせていただきます。1・2年生は、代表生徒以外は自宅学習とします。

生徒及び教職員は、マスクを外すことを基本とします。ただし、国歌・校歌等の斉唱や合唱については、マスクを着用します。保護者については、座席間の距離が確保できていないことから、マスクの着用をお願いいたします。様々な事情を抱えている生徒・保護者もいたりすることから、学校や教職員がマスクの着脱を強いることはありません。

## 校外学習（2年生） 生徒朝礼での報告

実行委員長 高橋 奏羽

1月27日(金)に、私たち2年生は、「探求心～伝統に親しみ触れる東京巡り～」をスローガンに、「東京校外学習」を行いました。

今回の校外学習は、「それぞれの関心に合わせた施設の訪問を通して、日本や東京の伝統文化にふれ、日本や東京の良さを理解するとともに、自ら課題を見付け、探求していく姿勢を育てる。」「修学旅行の事前学習として公共交通機関を使った班行動を実際に体験することで、計画行動力と自律性・協調性を養い、社会的なマナー等を身に付ける。」

「『東京』の様々な面を調査・発表していくことで、自分たちが住む地域についての関心を高めるとともに、調査・発表力を伸ばす。」の3つの目的で行いました。

当日まで班やクラス、学年で協力し事前学習を行いました。学年一人一人が南中生としての責任をもち、班員と協力し今後の生活に生かせるような学びにすることを意識した行動を心がけました。ですが、初めての広い範囲での行動で、マナーやルールを守らないといった気の緩みや責任を考えられていない行動が見られました。

今回の校外学習は、班ごとに広い範囲を行動するにあたって、些細なトラブルにも柔軟に対応できている場面もたくさんありましたが、学年一人一人が南中生としての自覚をもった行動を意識するべきだと感じました。

この校外学習の良かった点や反省点をそのままにするのではなく、今後の生活や3年生への進級に繋がられるように、学年全員が自分の行動を改めて見直し、意識して生活していこうと思います。



## スキー教室（1年生） 生徒朝礼での報告

実行委員長 加藤 健太

私たち1学年は、「寒冷熱波～雪を溶かすぐらい熱くなれ～」をスローガンに、多くのことを学ぶことができました。目的の1つでもある、スキーの技術を身に付け、スキーを楽しみながら心身を鍛えることは、事後アンケートで9割の人が達成できたと回答していました。また、それぞれの役割を果たすことを通して、責任感を養うのと共に集団生活規律を学び、学年集団としての意識を高めることもできました。

初日は、各実習班に分かれインストラクターの先生に教えていただきながら、スキーの楽しさを実感することができました。2日目は、スキーの技術力を向上させると共に、スキーの爽快感を味わうことができました。

3日目には、どの班も長いコースを滑り、技術力の向上を実感することができたと思います。今回の経験は私たちにとって、2年生に進級するための貴重な経験となりました。

スキー教室で学んだことを、これからの日々を生かせるよう、日々努力を続けていこうと思います。



## 教職員の異動・退職等に関するお知らせ

これまでは教職員の異動・退職等については、4月1日の報道発表以降、始業式の日を生徒や保護者にお知らせしてまいりました。今年度は、3月22日に報道発表されることになりましたので、市内中学校全校で、3月24日に転出・退職についてお知らせすることになりました。あらかじめご了承ください。

## 南中生の活躍

- 東京都薬物乱用防止推進東久留米地区協議会 薬物乱用防止標語  
地区会長賞 1年5組 熊本 喜心

「その1回だけで あなたの人生がくずれてしまう。」